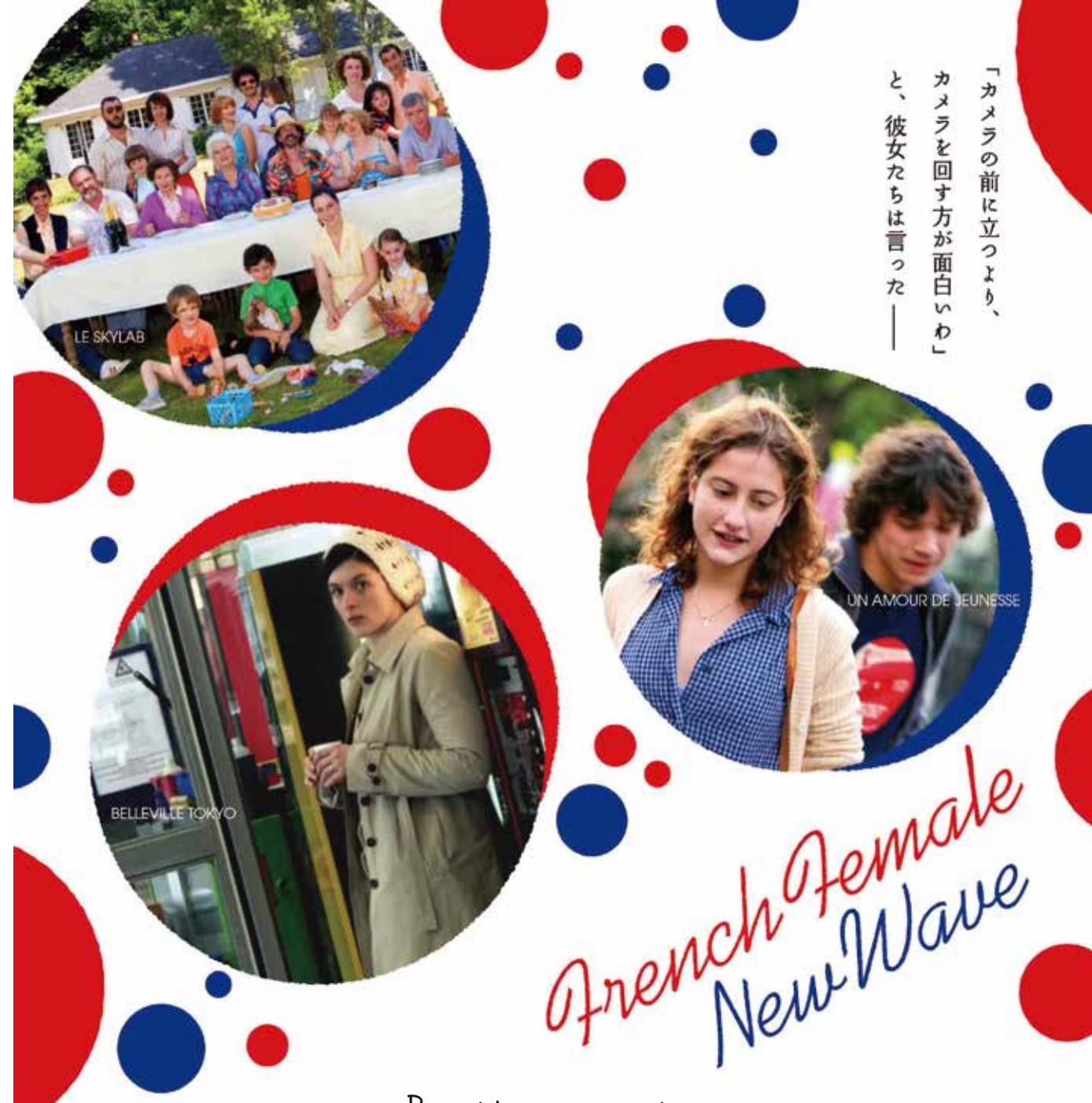




©Parc - Film Marianne Productions

Beauties presents  
**WEEKEND CINEMA Vol.2**  
 ロベール・ブレッソンの芸術

2015年8月21日(金)・22日(土)・23日(日)  
 会場 アンスティチュ・フランセ東京 “エスパス・イマージュ” (飯田橋)



「カメラの前に立つより、  
 カメラを回す方が面白いわ」と、  
 彼女たちは言った――

*French Female  
 New Wave*

Beauties presents  
**WEEKEND CINEMA Vol.1**  
 フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ

2015年7月17日(金)・18日(土)・19日(日)  
 会場 アンスティチュ・フランセ東京 “エスパス・イマージュ” (飯田橋)

©LFP-Kes Films Pelléas, Razor Film, ARTE France Cinéma, Rhône-Alpes Cinéma Jouror Productions 2011  
 ©2011 The Film/ Mars Films/ France 2 Cinéma/ Tempête sous un crâne production  
 ©International Sales: INSOMNIA WORLD SALES & Producer: DOLCE VITA Films

Beauties presents  
WEEKEND CINEMA Vol.1

フレンチ・フィーメール・ニューウェーブ

いまもっとも注目されるフランスの女性監督たちによる3作品を紹介



『グッバイ・ファーストラブ』  
2011年/110分/カラー/デジタル  
監督・脚本：ミア・ハンセン＝ラブ  
出演：ローラ・クレトン、セバステアーン・ウルゼンドフスキー

15歳の頃の初恋をひきずるカミュー。大学で出会った年上の男とつきあいはじめた彼女は、ある日初恋相手のシュリヴァンと再会するが……。本作は、監督作『あの夏の子供たち』(2010年)で注目を集め、9月に新作『EDEN エデン』(2014年)が公開されるミア・ハンセン＝ラブの長編3作目。多感な少女が大人への階段を登り始める瞬間を美しくとらえたみずみずしい青春映画。



『スカイラブ』  
2011年/113分/カラー/デジタル  
監督・脚本：ジュリー・デルビー  
出演：ジュリー・デルビー、ベルナドット・ラフォン、エマニュエル・リヴァ

ゴダール、カラックスに愛され、いまや国際派女優として活躍するジュリー・デルビー。『パリ、恋人たちの2日間』(2007年)など映画監督としても活躍する彼女が手がけた本作は、1979年のブルターニュ地方を舞台にしたちょっとおかしな大家族の物語。祖母の誕生日に集った親戚たちの繰り広げる人生模様が、11歳の少女アルベルティヌの視点を通して描かれる。



『ベルヴィル・トーキョー』  
2011年/75分/カラー/デジタル  
監督・脚本：エリーズ・ジラル  
出演：ヴァレリー・ドンゼッリ、ジュレミー・エルカイム

映画館で働くマリーは現在妊娠中。映画評論家の夫との関係に悩む彼女は、ある日東京へ出張中の彼がパリのアジア人街ベルヴィルにいるのを発見し……。妊娠中の妻と、父親になることを受け入れられない夫のすれ違いを巧みな演出で描いた切ないラブストーリー。主演は、『わたしたちの宣戦布告』(2011年)で監督・主演二役をつとめたヴァレリー・ドンゼッリ。監督は、本作が初の長編劇映画となるエリーズ・ジラル。

《上映スケジュール》

7月17日 [金]	11:00 グッバイ・ファーストラブ	13:30 スカイラブ	15:45 ベルヴィル・トーキョー	19:15 グッバイ・ファーストラブ ※終了後トークあり
7月18日 [土]	11:00 ベルヴィル・トーキョー	13:00 グッバイ・ファーストラブ	15:15 スカイラブ ※終了後トークあり	18:00 ベルヴィル・トーキョー
7月19日 [日]	11:00 スカイラブ	13:30 ベルヴィル・トーキョー	15:30 グッバイ・ファーストラブ ※終了後トークあり	

《トークイベント》

- 7月17日 (金) 19:15~の回上映終了後  
坂本安美さん (アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任) トーク「フランスの女性監督たちの現在」(30分程度)
- 7月18日 (土) 15:15~の回上映終了後  
猫沢エミさん (ミュージシャン・文筆家) トーク「フレンチ・カルチャーから映画を見る」(30分程度)
- 7月19日 (日) 15:30~の回上映終了後  
五所純子さん (文筆家) トーク「フレンチ・フィーメール・ニューウェーブを語る」(30分程度)

Beauties presents WEEKEND CINEMA とは……

この夏、ヨーロッパを中心とした選りすぐりの映画作品を配給しているマーメイドフィルムは、新しい映画配信サイト Beauties (ビューティーズ) を開設します。このたび開催される Beauties presents WEEKEND CINEMA は、配信サイトと連動した映画上映会です。上映と共にさまざまなゲストによるトークショーも行い、映画の美しさ、楽しさ、感動をお伝えします。選びぬかれた美しい映画をお届けする Beauties。劇場で、オンラインで、ぜひご堪能ください。  
※映画配信サイトは7月末オープン予定! 詳しくは… <http://mermaidfilms.co.jp/beauties>  
マーメイドフィルム TEL : 03-3239-9401

Beauties presents  
WEEKEND CINEMA Vol.2

ロベール・ブレッソンの芸術

巨匠ロベール・ブレッソンの傑作3作品を紹介



『スリ』  
1960年/74分/白黒/デジタル  
監督・脚本：ロベール・ブレッソン  
出演：マルタン・ラザール、マリカ・グリーン、ジャン・ペレグリ

手先の器用さを活かしスリで生計をたてている貧しい大学生と、彼を慕う女の物語。様々な障壁を経て結ばれるふたりの男女の切ない恋愛と、サスペンスたっぷりの犯罪が交差する。ブレッソンが初めて同時代のパリを舞台にした作品で、パリ市街でのロケーション撮影の臨場感も見もの。ブレッソンの代表作ともいえる1本。



『やさしい女』デジタルリマスター版  
1969年/89分/カラー/デジタル  
監督・脚本：ロベール・ブレッソン  
出演：ドミニク・サンダ、ギイ・フランジャン

ドストエフスキーの傑作短編を映画化したブレッソンの初カラー作品。店を訪れた貧しい少女を見初め強引に結婚した質屋の男だが、小さなすれ違いからその結婚生活は徐々に破綻していく。映画初主演となるドミニク・サンダ(当時17歳)の美しさが際立つ本作は、一組の夫婦に起きた悲劇を描き愛し合うことの難しさを問いかける。



『ラルジャン』  
1983年/85分/カラー/デジタル  
監督・脚本：ロベール・ブレッソン  
出演：クリスチャン・パティ、カロリーヌ・ラング

トルストイの中編小説を大胆に翻案した本作は、偶然手にした贖札をきっかけに人生を転落していくある青年の悲劇を描く。人々の自覚なき悪意の連鎖が青年を追いつめていく様が、徹底的に抑制された映像によって生々しくとらえられる。80歳を超える老境で簡潔さの極みを実現した、ブレッソンの遺作にして最高傑作。

《上映スケジュール》

8月21日 [金]	11:00 やさしい女	13:00 やさしい女	15:00 やさしい女	17:00 スリ	19:00 ラルジャン
8月22日 [土]	11:00 やさしい女	13:00 ラルジャン	14:45 スリ ※終了後トークあり	17:00 やさしい女	19:00 やさしい女
8月23日 [日]	11:00 やさしい女	13:00 やさしい女	15:00 やさしい女		

《トークイベント》

- 8月22日 (土) 14:45~の回上映終了後  
五所純子さん (文筆家) トーク「ブレッソン映画を語る」(30分程度)  
※この他にもトークイベントを予定しております。詳細はサイトにてご確認ください。

【料金】一律 800円

※会員、学生、シニアも問わず一律 800円  
※前売券はありません。

【会場】アンスティチュ・フランセ東京“エスパス・イマージュ”(飯田橋)

最寄駅：飯田橋駅：JR総武線、東京メトロ有楽町線・南北線・東西線、都営地下鉄大江戸線  
駅からの所要時間(徒歩)：JR：西口より7分 地下鉄：B3出口より7分  
問い合わせ電話番号：03-5206-2500 URL：www.institutfrancais.jp/tokyo

